

災害時の TEC-FORCE 等専門家派遣及び技術支援活動状況

1. はじめに

近年、自然的インパクトが局地化・集中化・激甚化していることは既に認識され、ハード・ソフト対策を総合し、被害を最小化するための取組みがより一層強く推進されてきている。そのうち、有力な手段の一つとして、国土交通省は平成 20 年に TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を創設し、被害の発生・拡大の防止や被災地の早期復旧等を目的として、その活動を積み重ねてきている。

2. 国総研の TEC-FORCE 等活動

国総研より派遣する TEC-FORCE は、日々の研究等による蓄積をバックボーンに、専門家として判断がより複雑あるいは難しい事象や被害を主な対象とした『高度技術指導班』として活動する。主な役割は被害状況の調査や施設の安全性評価に加え、二次災害防止のための高度な判断に基づく助言などである。

平成 30 年 7 月豪雨では、堤防決壊箇所現地調査、土砂災害ヘリ調査など、それぞれの被災に対応する分野の専門家を派遣した。

TEC-FORCE としての活動以外にも、被災地の地方公共団体や地方整備局等からの要請に対し、迅速に専門家を派遣し、技術的支援活動を継続している。また、自主調査も積極的に行い、防災・減災に関する技術力向上のための活動も行なっている。（派遣実績は、表参照）

3. おわりに

国総研より派遣する専門家は、TEC-FORCE や自主調査等の形態を問わず、高度な技術的支援を通じて、被災地の復旧に貢献している。

なお TEC-FORCE については、平成 30 年 7 月豪雨及び平成 30 年北海道胆振東部地震に対する活動が評価され、平成 31 年 2 月に国土交通大臣より、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）表彰を受けた。また、平成 29 年九州北部豪雨に対する、国総研からも隊員を派遣した国土交通省全体の TEC-FORCE 活動について、平成 30 年 9 月に平成 30 年防災功労者内閣総理大臣表彰を受けた。

表 平成 30 年度専門家の派遣実績

●大分県中津市土砂災害

部・センター、課室及び役職		氏名	派遣期間	
土砂災害 研究部	深層崩壊対策研究官	桜井 亘	4/11～12	
	(併)砂防 研究室	(九州地方 整備局) 梶原 慎一	4/11～12	
	土砂災害 研究室	主任研究官	野村 康裕	4/28～29
		研究員	鈴木 大和	4/11～12, 4/28～29

●霧島山（硫黄山）噴火

部・センター、課室及び役職		氏名	派遣期間
河川 研究部	水防災システム研究官	服部 敦	5/7
	水環境研究官	植田 彰	5/7

●国道 157 号登り谷橋落橋

部・センター、課室及び役職		氏名	派遣期間
道路構造物 研究部	橋梁 研究室	室長	白戸 真大
		研究官	大西 諒

●大阪府北部を震源とする地震

部・センター、課室及び役職			氏名	派遣期間
土砂災害 研究部	砂防 研究室	主任研究官	木下 篤彦	6/22～23 (TEC-FORCE)
建築 研究部	基準認証 システム 研究室	主任研究官	坂下 雅信	6/19～20

●和歌山県田辺市稲成町斜面変状

部・センター、課室及び役職			氏名	派遣期間
土砂災害 研究部	土砂災害 研究室	研究官	村田 郁央	6/26～27

●滋賀県米原市における竜巻被害

部・センター、課室及び役職			氏名	派遣期間
建築 研究部	基準認証 システム 研究室	主任研究官	喜々津 仁密	7/3

研究動向・成果

●平成 30 年 7 月豪雨

部・センター、課室及び役職			氏名	派遣期間
下水道 研究部	下水道 研究室	室長	岩崎 宏和	7/10～11 (TEC-FORCE)
		河川構造物管理研究官	諏訪 義雄	7/23 9/28
河川 研究部	水防災システム研究官		服部 淳	10/14～15 11/27
	河川 研究室	室長	福島 雅紀	7/8 7/10～11 7/23 7/26～27 10/11～12 12/26
		主任研究官	瀬崎 智之	7/8 8/22
		主任研究官	山本 陽子	10/14～15 11/27
		研究官	笹岡 信吾	8/1～8/2 8/29 9/28
		研究官	中村 良二	10/11～12
		研究員	下津 隆介	8/1～8/2
	水害 研究室	室長	板垣 修	7/26～27
		主任研究官	武内 慶了	7/26～27
	土砂災害 研究部	部長		岡本 敦
深層崩壊対策研究官		桜井 亘	7/9～13 (TEC-FORCE) 7/19～25 7/30～31	
砂防 研究室		室長	内田 太郎	7/12～15 7/18～19 7/25 7/26～30
		主任研究官	木下 篤彦	7/9～10 (TEC-FORCE)
		主任研究官	坂井 佑介	7/10～12 (TEC-FORCE) 7/25～30
		主任研究官	松本 直樹	7/15～19
土砂災害 研究室		研究官	泉山 寛明	7/12～15, 7/25～26
		室長	野呂 智之	7/17～19
		主任研究官	野村 康裕	7/17～19
		研究官	村田 郁央	7/12～13 7/30～31 9/15～17
	研究員	鈴木 大和	7/12～15 7/31～8/1	

部・センター、課室及び役職			氏名	派遣期間
道路構造 物研究部	構造・基礎 研究室	室長	七澤 利明	7/20, 25
		研究官	上原 勇気	7/20
		研究官	木村 崇	7/20, 25
	道路基盤 研究室	室長	渡邊 一弘	7/26
		主任研究官	木村 一幸	7/14, 26, 31

●平成 30 年北海道胆振東部地震

下水道 研究部	下水道 研究室	室長	岩崎 宏和	9/10
		研究官	川島 弘靖	9/10
		研究官	平出 亮輔	11/28～29
土砂災害 研究部	深層崩壊対策研究官		桜井 亘	9/9～12 10/2～3
	砂防 研究室	室長	内田 太郎	9/12～15
		主任研究官	松本 直樹	9/9～12
		主任研究官	坂井 佑介	9/12～15
	土砂災害 研究室	室長	野呂 智之	9/6～7 (TEC-FORCE) 9/8～10 10/22～23
		研究官	村田 郁央	10/22～23
		研究員	鈴木 大和	9/9～12 10/2～3
研究員		鈴木 大和	9/9～12 10/2～3	
道路構造 物研究部	道路構造物管理システ ム研究官		玉越 隆史	9/17～18
	橋梁 研究室	室長	白戸 真大	9/18
		主任研究官	岡田 太賀雄	9/17～18
	道路基盤 研究室	室長	渡邊 一弘	9/10
		主任研究官	木村 一幸	9/10
	道路地震 防災 研究室	室長	片岡 正次郎	9/13～14
主任研究官		横田 昭人	9/13～14	
研究員	石井 洋輔	9/10		
建築 研究部	基準認証 システム 研究室	主任研究官	荒木 康弘	9/11
	構造基準 研究室	主任研究官	柏 尚稔	9/17～18
都市 研究部	都市計画 研究室	主任研究官	大橋 征幹	9/17～18
港湾 研究部	港湾施設 研究室	主任研究官	竹信 正寛	9/7～8

●台風 21 号

部・センター、課室及び役職			氏名	派遣期間
建築 研究部	基準認証シス テム研究室	主任研究官	喜々津 仁密	9/12～13
		室長	鮫島 和範	9/5～6 9/26
沿岸海洋 ・防災 研究部	沿岸防災 研究室	主任研究官	本多 和彦	9/5～6 9/26

研究動向・成果

●和歌山県橋本市恋野橋変状

部・センター、課室及び役職			氏名	派遣期間
道路構造 物研究部	橋梁 研究室	主任研究官	岡田 太賀雄	11/4
	構造・基礎 研究室	室長	七澤 利明	11/4

●千葉県市原市盛土崩壊による道路閉塞箇所現地調査

部・センター、課室及び役職			氏名	派遣期間
道路構造 物研究部	道路基盤 研究室	主任研究官	木村 一幸	11/9

●西九州自動車道 唐津伊万里道路のり面崩壊

部・センター、課室及び役職			氏名	派遣期間
道路構造 物研究部	道路基盤 研究室	室長	渡邊 一弘	10/11
		主任研究官	木村 一幸	10/11

●一般国道10号中判田地区のり面崩壊

部・センター、課室及び役職			氏名	派遣期間
道路構造 物研究部	道路基盤 研究室	室長	渡邊 一弘	10/16
		主任研究官	木村 一幸	10/16

●船舶衝突による大島大橋損傷

部・センター、課室及び役職			氏名	派遣期間
道路構造 物研究部	橋梁 研究室	室長	白戸昌大	10/23

●奈良県国道169号高原トンネル現地調査

部・センター、課室及び役職			氏名	派遣期間
道路構造 物研究部	構造・基礎 研究室	室長	七澤 利明	12/2
		主任研究官	森本 和寛	12/2

※災害直後の緊急的対応のみを掲載し、その後継続的に行われた応急復旧・本復旧に関する技術支援等は省略している。